

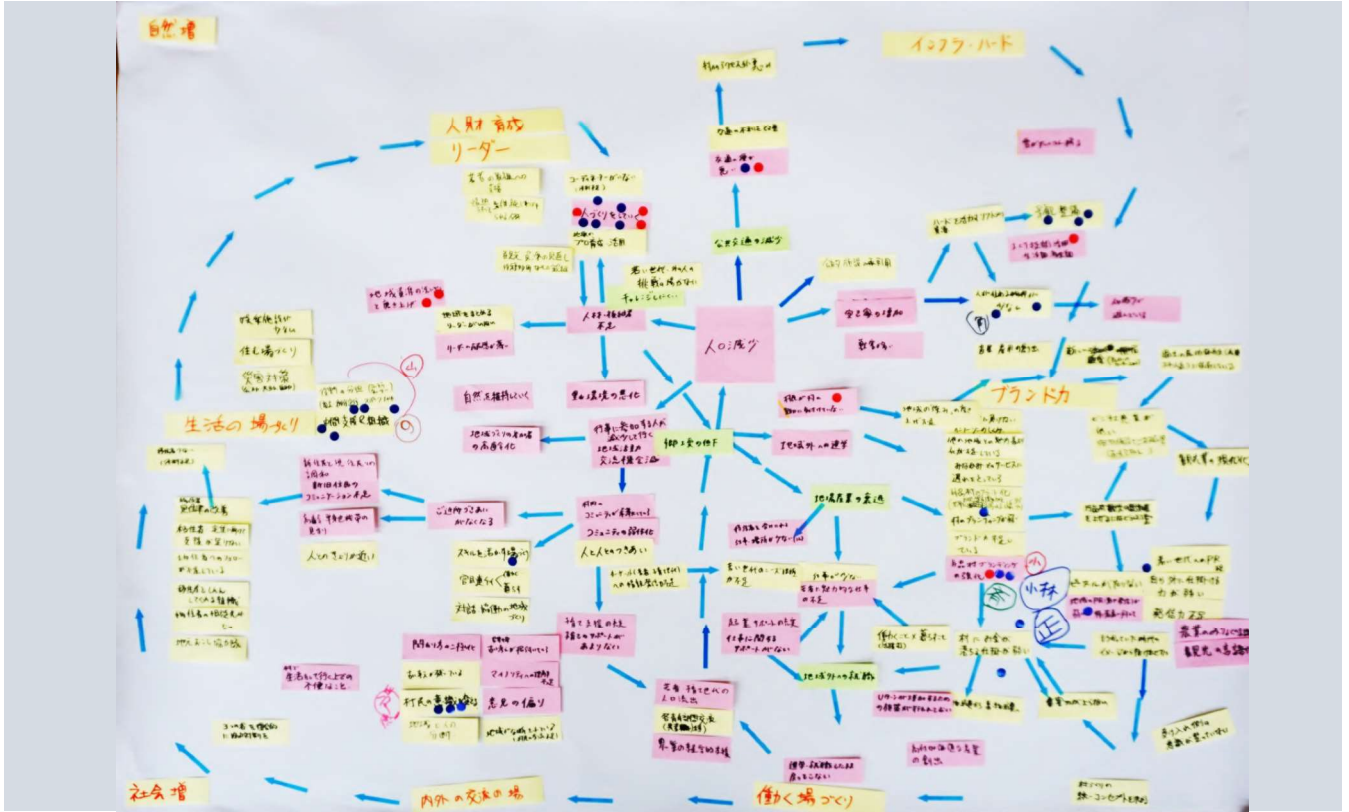
地域の資源を活かした住み続けたい村づくり ～移住定住のために～

自治体名

片品村

課題の構造図

テーマについて詳しい方や対象者へのヒアリング、自分自身の経験などから、チームのメンバーで課題を引き起こしている要因同士の複雑なつながりを紐解き、整理した図です。



フォーカスした問い

チームで話し合い、課題の構造図の中のどこにポイントを絞るといいかを定め、誰の・どんな行動を・どう後押しするのかを、「問い」のかたちにとまとめました。

1 官と民の連携不足

十分に協働できていない官と民が、コーディネーター・地域のリーダーを育成し、未来を見据えた建設的な対話を行なっていくことで、暮らし続けられる地域を創るために、何が可能か？

2 将来を見据えた場づくり・人づくりができていない

村全体のイメージを定着・発信する意識が低い行政と民間がスピード感と実行力を持って場づくり、人づくりをすることで、10年後、20年後を見据えた村のブランディングをするために、何が可能か？

3 ブランディングが弱い

真の片品村を知らない村内外の若者が充実した環境教育プログラムや村の情報に触れることで、旅行先、就職先、定住先として、片品村を選ぶために、何が可能か？

未来の種

問いに対して、どんなアクションを起こすとより良い未来につながるのか、チームで話し合った意見の中から、特に実現してみたい「未来の種」となるようなアイデアの一覧です。

<p>尾瀬の魅力発信</p>	<p>尾瀬の魅力をよく知らない人が、オンラインによる疑似尾瀬ハイクを体験できる。ミズバショウ栽培中継、尾瀬木道廃材を活用した安全折願札を通して、尾瀬を知る。</p>	<p>みんなの未来を共に創る尾瀬の郷倶楽部</p>	<p>官民共創で解決すべき新たな課題を感じたときに、未来共創プラットフォームで、民と官が「子ども・若者から大人まで」共に共創を学び、実践する。官民協働推進アカデミーや未来共創のプラットフォームをつくり、運用する。多様な主体によるオープンなプレゼン大会も。</p>
<p>オゼギルド</p>	<p>地の利を活かした活動を村全体で実施する。例えば、農家レストラン（オーバーイーツ）や、地域 RPG オゼギルド。地域への関わりしるをプラスする。</p>	<p>世界を目指すアスリートの育成と村農業の継承</p>	<p>育成や継承のためのアカデミー設立。廃校を活用し、山岳スポーツ（スキー）、ダンス、サッカー、農業など、村以外の希望者が学べる場所を作る。</p>